



平成30年度 事業報告書

平成30年（2018）4月1日から平成31年（2019）3月31日まで

特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
（略称：NPO法人エコネット近畿）

もくじ

事業期間 基本方針・報告	2
1.情報の受発信・交流	5
・1-1 第14回 エコネット近畿情報交流会 の開催	
・1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催	
・1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開	
・1-4 各展示会への出展	
2.団体・人材育成	11
・2-1 第14回環境市民活動助成金セミナーの開催	
・2-2 資金調達に関するスキルアップセミナーの開催	
・2-3 マネジメントセミナーの開催	
・2-4 会員団体への会議室・備品の貸し出し	
3.コーディネート	15
・3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催	
・3-2 CSRのコーディネート	
4.コンサルティング	16
・4-1 個別相談への対応	
5.統一テーマ活動	17
・5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動への協力	
運営体制	18
・1 役員等の数	
・2 平成30年度総会の開催	
・3 理事会の開催	
・4 運営会議の開催	
会員の推移	20

平成30年度 事業報告書

事業期間 基本方針・報告

事業期間

平成30年（2018）4月1日～平成30年（2019）3月31日

事業報告書のまとめ

エコネット近畿が目指す「環境の保全、生態系の維持及び持続可能で豊かな社会の実現」のため、中間支援組織の役割と考える「1.情報の受発信・交流」「2.団体・人材育成」「3.コーディネーター」「4.コンサルティング」「5.統一テーマ活動」の5つのテーマを明確に意識し、基幹事業ならびに自主事業を継続・補完・発展させることを目標としました。

特に、新3ヵ年計画2年目となる今年は、「情報交流会」と「環境市民活動助成金セミナー」の2つの基幹事業のプログラムの刷新で得た成果の検証を行いました。同時に昨年の事業実施後の課題として挙げられた、①各事業の相互補完、②参加者の変容の測定ならびに測定方法の確立、③各連携主体との関係性の深化の3つの目標に取り組みました。

まず、①各事業の相互補完については、取り扱うテーマや参加対象者、目的など、いくつもの共通部分や連動部分を持たせるなど工夫をしました。具体的には、「資金調達のためのスキルアップセミナー」で、広く資金調達の設計や考え方を学び、その後、実際に団体に適した資金調達法の最新情報を「環境市民活動のための助成金セミナー」で得ていただくよう開催日程を調整したり、「情報交流会」と「企業と環境NPOの協働セミナー」とで共通したテーマ「SDGs」を取り上げるなどがあります。

次に②の参加者の変容については、2つの基幹事業についてセミナー終了後のアンケートの設問で、参加前と参加後の認識の変化の測定を試みました。

最後に、③の各連携主体との関係性の深化については、協働セミナーにおける近畿経済産業局との新たな繋がりや、龍谷大学院へ地域人材育成の相互協力に関する協定を締結に基づき推薦するなど、新たな関係性の一步を踏み出しました。

5つのテーマを意識しながら、①②③に取り組んだ結果、市民団体のみならず団体支援に関わる主体など新規顧客を開拓できました。新たなネットワークの広がりから、環境活動を推進するうえで重要かつ、多様な情報が集積され、その発信力に多くの信頼が集まりました。

次年度もひきつづき、中間支援の役割を明確に、目標達成に向けて事業をすすめていきます。

事業報告のまとめ

「1.情報の受発信・交流」 ～エコネット近畿情報交流会～

宿泊参加型ミーティング5年目の今年、開催時期を、総会や事業準備に多忙な6月から2月に変更し、昨年大きな成果が生まれた情報交流会は、昨年の成果の検証の年と位置付け、同時期・同会場・プログラムの一部改善と、準備作業における外注や役割分担による作業効率の向上による準備期間の短縮を試行し手ごたえを感じる結果となりました。

>> 参加者満足度 6%アップ、スキルアップできて満足と答えた人 9%アップ

参加者数目標数値である100人に届かなかったものの、全体として相互交流の密度の濃さを感じられ、満足度についても「10点」を選択された方 6%アップ（32%→38%へ）、また、組織運営力・個人のスキルアップにつながり大変満足と評価された方 9%アップと、個々人の満足度の向上が見られました。

>> プログラムのブラッシュアップで満足度アップ

外部からゲストを招き、2日間「持続可能な社会のなりわい」にテーマをしぼり深く掘り下げて考える機会をもつなどプログラムをブラッシュアップしました。結果、ゲストが関わるプログラムでは、特に満足度が高い傾向にありました。

>> 地域・世代・分野を超え SDGs への関心の高まり

新たに、関西SDGsプラットフォーム、近畿地方ESD活動推進センターに後援を依頼したほか、昨年の参加者の要望に応えSDGsを分科会で再掲しました。参加者のSDGsの認知度は半分以上と、全国データの14%と比較すると大きく広がりを見せ今後に期待できます。

>> 環境配慮型のセミナーへ

ひきつづき、マイカップの使用、アメニティの不使用、紙資料の削減など、参加者の協力により環境に配慮したセミナーを意識することができました。

事業報告のまとめ

「2.団体・人材育成」 環境市民活動助成金セミナー

>> 参加者目標達成 74人 新規参加率 86.5%

そこで、昨年から「セミナー時間の拡大」と「講座を選択制」により、異なるニーズに応えられるようプログラムをデザインした結果、目標数を上回る参加があり、しかも、顧客満足度は例年と同水準を維持することができ、成果を検証することができました。

しかも、新規セミナー参加者が86.5%、申請をしたことのない団体が全体の半数を数え、助成財団とNPOの新たなマッチングの機会となりました。

>> 申請への意欲 4割以上が「申請しようと思う」と回答

さらに、セミナーを受講する前と後での参加者の意識の変容について、アンケートによる調査の結果、「申請する予定がなかった」団体の4割以上が、参加受講後「申請しようと思う」と回答し、変容がみられました。

>> 助成財団との関係性の深化は、次年度への課題

今年度は、登壇する助成財団より徴収した参加費で、参加費割引を実施した結果、定員を超える申込みへとつながりました。終了後のふりかえりでは、個別質問会前に離席される方が目立つなど、会場レイアウトや進行上の課題について次年度以降の改善点など、助成財団より率直な意見が述べられるなど、セミナーを介して関係づくりがはじまりました。

助成金セミナーでは、異なる成長ステップや規模の団体が同一のセミナーに参加することから、対象顧客や参加助成財団の絞り込みが難しいことが課題でした。

また、資金調達方法や助成制度が多様となり、NPOが団体や活動に適した調達方法や助成制度を取捨選択する際の判断基準となる情報が不足しているように感じられました。

一方で、助成財団側には、制度活用団体の固定化の解消や申請書作成に係るスキルアップを望む声が聞かれました。

平成30年度 事業報告書

1.情報の受発信・交流

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に関わる情報(提供・仲介)の受発信
- ・環境保全活動のネットワーク構築

1-1 第14回 エコネット近畿団体情報交流会 「持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング」の開催

【目的】①近畿の環境、里山団体、個人が出会い、学び合う場、連携のきっかけを提供する。
②団体の組織運営力の強化、個人のスキルアップを目指す。

【事業概要】地域の環境課題に取り組む活動団体に焦点を当て開催する。様々な団体、個人が分野、立場、世代を超えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、自らの活動を「持続可能な社会・なりわい・暮らし」という観点で問い直し、活動を紹介し合い、語り合い、学び合うことを目指す。これからの社会を創る！そんな思いを胸に、ミーティングに集い、ネットワークを広げ、パワーアップする。

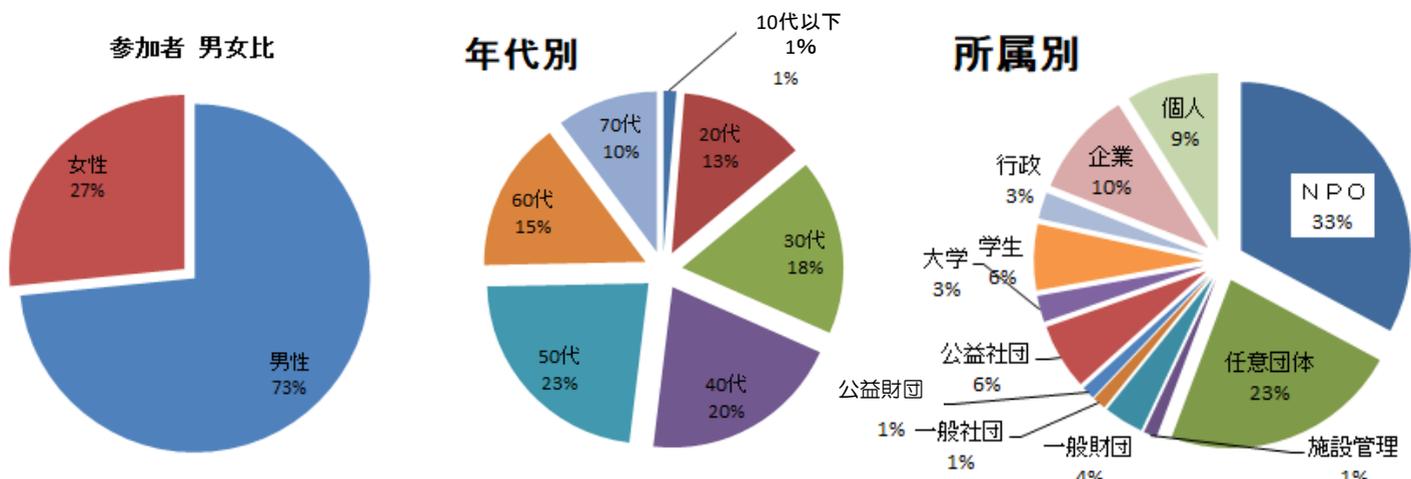
【実績】・参加者数：79人・57団体（一般37人、会員37人、学生5人）目標数：100人
・新規参加率：46%（新規：リピーター＝36人：43人）
・会員獲得数：2団体・人（目標数15人）
・宿泊者数：68人、日帰り：11人
・参加者の満足度：10点満点 6%アップ（昨年32%→今年38%）
満足と答えた理由 1位「多様な価値観、多様な人との交流・意見交換ができた」
2位「楽しかった」、3位「テーマ、講師がよかった」「学びになった」
・組織運営力や個人のスキルアップに関する満足度 9%アップ（57%→66%）

【実施日時】平成31年（2019）2月22日（金）・23日（土）（1泊2日）

【実施場所】ユニトピアささやま（兵庫県篠山市）

【対象者】農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動の実践者・運営者、企業行政等の担当者、大学等の研究者、学生

【参加費】一般 12,000円、会員 11,000円、学生 8,000円



平成30年度 事業報告書

1.情報の受発信・交流

- 【内 容】①オープニング、アイスブレイク
②事例紹介、全員ディスカッション（テーマゲスト、参加団体）
「まちを将来世代につなぐ？ 神山町の「すまい・ひと・しごと」づくり」
西村佳哲さん（神山つなぐ公社理事、リビングワールド代表）
③活動発表 17枠（6枠×3部屋） 同時進行
④交流会、分科会（6テーマ）
⑤ポスターセッション 10枠
⑥早朝オプションプログラム、ふりかえり

- 【主催】 NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
【共催】 公益社団法人大阪自然環境保全協会
【企画・運営】 ささやまミーティング 2019実行委員会
【後援】 大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県
関西SDGsプラットフォーム、近畿地方ESD活動支援センター
【協力】 パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニピアささやま



- 【課題】①時間経過後の「連携」「スキルアップ」など効果測定
②多様な分野、異なるセクターの参加・巻き込み

- 【収入】 1,261,620円
【支出】 1,130,214円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）
【収支差額】 131,406円

1.情報の
受発信・交流

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

- 【目的】①団体の活動を社会に認知される機会と場の提供。
②興味関心のある分野の情報について他の団体と交流する。
- 【実績】参加者数 42人（目標 90人）

7/18

「衣服の安全性を考える～家庭の洗濯、クリーニング屋さんの洗濯～」

【講座】高見 明美氏（せんたく工房 無有）

【内容】環境問題は、私たちの健康問題であり、食の安全性と同じく、衣服の安全性を考えることは大切。洗濯を取り巻く環境問題、クリーニング屋店の諸事情や衣服の安全性について話題提供いただいた後、質疑応答。

【実績】・参加者数 5人（目標15人）

- ・環境に興味をもたれる一般市民の参加もあり、カフェを通じてNPO活動を知っていただける機会の提供ができた。



8/3

「たまねぎの皮でエコバックづくり へらそうごみの取組」

【講座】水藻 英子氏（特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会）

【内容】大阪環境カウンセラー協会では、SDGs17の目標のうち、「4. 質の高い教育をみんなに」「8. 働きがいも経済成長も」「17. パートナーシップで目標を達成しよう」の実現にむけ、「高齢者・障がい者環境出前講座」を実施している。エコバック作成と活動紹介。

【実績】・参加者 7人（目標15人）
・新規顧客ばかりの参加となった。



1.情報の
受発信・交流

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

8/22

「豊中市伊丹市クリーンランドを見学しよう！」

【講師】小篠 和之氏（特定非営利活動法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム）

【内容】クリーンランドの小篠氏に施設を説明していただきながら、私たちがいつも出している『ごみ』の処理過程や資源化について学んだ。

【実績】参加者数 4人（目標15人）
会員の声をもとに、エコネット近畿 事務所から出て会員の活動拠点を訪問しての見学会をはじめて開催。



1/18

「自然に学ぶ～新幹線500系開発秘話～」

【講師】仲津 英治氏（『地球に謙虚に』）

【内容】日本の新幹線で日本の新幹線で、最初に時速300kmの営業運転を行った500系新幹線電車。この500系の開発にあたっては、最大テーマは速く走ることより、静かに走ること。そこに野鳥の優れた特徴が活かされたエピソードの紹介。

【実績】参加者数 22人（目標 15人）
企業からのご参加もあり、多様な参加者にお集まりいただいた。

【課題】・環境活動団体の交流の場であると同時に、一般の市民・学生など個人の方と団体をつなげる場としての役割も意識した「場」へと発展させる。
・資料代や材料費を徴収することで、内容に幅や深みをもたせる。

【全回収入合計】 15,000円（参加費）

【全回支出合計】 13,348円（旅費交通費、会議費、印刷費）

【収支差額】 1,652円

1.情報の
受発信・交流

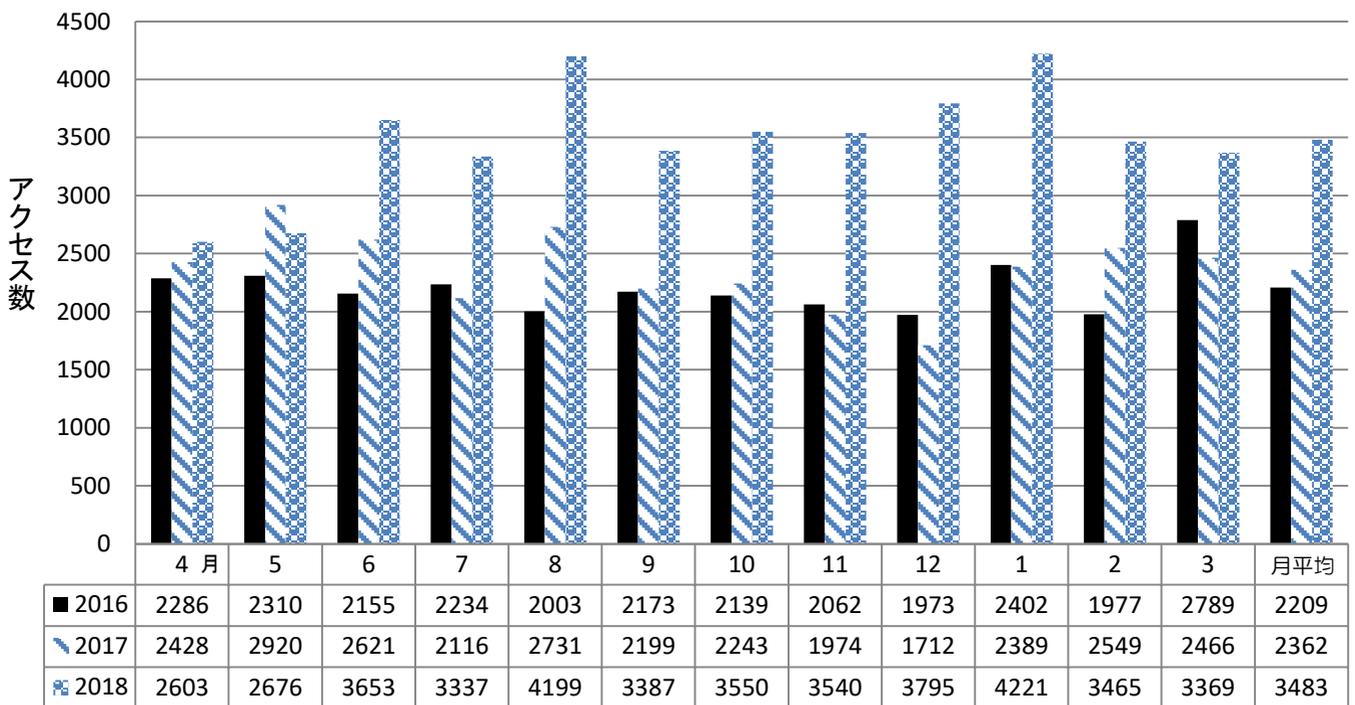
1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開

- 【目的】 支援する人・団体と支援を求める人・団体を「結ぶ」
- ①行政、企業、研究機関、環境NPO間の情報発信・交流。
 - ②多様な環境活動情報の配信により、環境啓発をはかる。
 - ③会員団体の情報発信。
 - ④地域資源のリソースマッチング（人材、フィールド、資金等）。

【事業概要】 環境NPO、行政、企業、研究機関、地域住民に対し、環境情報、イベント情報、助成金・補助金情報、ボランティア情報、会員のインタビュー記事等を配信。

- 【実績】 「顧客」が求める情報を、活用しやすい形で発信する体制を整える。
- ・ホームページアクセス（閲覧者数）：平均 3,483回／月 更新1回／週
 - ・メールニュース：月2回＋臨時号 30号 配信数 1,814部（昨年 1,364部）
 - ・エコネット近畿会員情報メール：57号（昨年 80号）
 - ・フェイスブック：604 いいね！（昨年455）33%増

ホームページ月間アクセス数



1.情報の
受発信・交流

1-4 各展示会への出展

- 【目的】①活動の広報および参加者交流。
②環境活動の市民へのひろがりを目指す。

- 【実績】・3会場（イベント）
・エコネット近畿の事業と会員活動の紹介（イベントチラシの配架）
・団体交流、ヒアリングの機会

<第10回 水辺の匠おもしろステージ>

- 【実施日時】平成30年（2018）7月16日（日）・17日（月）
【実施場所】水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（滋賀県大津市）
【主催】ウォーターステーション琵琶の会
【来場者】2,940人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、当日運営スタッフとして参加。

<平成30年近畿ESDフォーラム>

- 「地域資源を活用して、子どもたちの学ぶ力を育てる授業をつくろう～地域とつながる、
“社会に開かれた教育課程”とは!?学校・行政・拠点の連携により地域の課題解決に迫る!～」
【日時】平成31年（2019）1月12日（土）10:00～16:30
【場所】OMM(大阪マーチャングイズ・マート) 201会議室
【対象】学校教員・教育関係者、自治体職員、博物館・環境学習施設・社会教育施設等の地域
拠点、学校と連携したESDに取り組む団体・組織、教員を目指す学生等
【来場者】70人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、第14回エコネット近畿情報交流会のPR

<環境フェスタ in かたの>

- 【実施日時】平成31年（2019）3月10日（日）
【実施場所】星の里いわふね（大阪府交野市）
【主催】交野市民環境会議
【来場者】800人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、当日運営スタッフとして参加。

2. 団体・人材育成

- ・ 持続可能な社会の形成に向けた地域づくりを行うNPOに対し、活動支援となるセミナーを開催
- ・ 環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップ

2-1 環境市民活動助成金セミナーの開催

- 【目的】 ①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。
- 【事業概要】 参加団体の成長ステージにあわせ、助成申請に関する事務力向上や事務局のネットワーク構築の機会として、選択制の講座を助成金セミナーと同日に開催。セミナー終了後も、資金調達に関するスキルアップセミナーや個別相談で補完、団体が資金調達に至ったか、追跡調査し成果の「見える化」に取り組む。
- 【実績】 ・参加者数：74人（目標数 50人）
・会員獲得数 5 団体・人。
・参加者の満足度 10点満点で10～9点 39%（昨年 40%）
・申請団体数、採択団体数は、次年度アンケート等にてヒアリング。
・個別相談件数 6団体、採択団体数 2団体。
・補助金・交付金の情報提供ページの開設。
・他のNPOからの事業開催に関する問い合わせ 6件
- 【実施日時】 平成30年（2018）10月6日（土）10：00～16：30
- 【実施場所】 大阪産業創造館 5階 研修室 A・B・C（大阪市）
- 【対象者】 資金調達に関心のある環境NPO、任意団体、行政の方
- 【参加費】 一般 500円、会員 無料、登壇する企業 5,000円
- 【内容】 ①新しい流れと書き方講座 資金調達の新しい流れ／助成金申請書の書き方講座
②環境市民活動助成金セミナー 事例紹介（NPO×財団）・制度説明（12団体）
③個別質問会
- 【参加助成財団】 環境再生保全機構、河川財団、損保ジャパン日本興亜環境財団
瀬戸内オリーブ基金、TOTO、トヨタ自動車、阪急阪神ホールディングス、ラッシュジャパン、近畿ろうきん、セブン-イレブン記念財団
FAVVO by Campfire、サービスグラント、しみん基金KOBÉ
- 【主催】 NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- 【後援】 大阪府、大阪市
- 【課題】 ・セミナー参加者の変容の測定、測定方法
参加されたNPOの組織基盤の強化につながったかどうか、その成果を測定する。
・助成財団との関係性の深化・つながり方
これまでNPO目線でのセミナー開催に注力してきたが、今後はさらに助成財団との関係性を深めることが次につながる事がわかった。
- 【収入】 260,393円（助成金185,893円、参加費 24,500円、企業参加費 50,000円）
- 【支出】 224,712円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）
- 【収支差額】 35,681円

2-2 資金調達に関するスキルアップセミナー 共感が生まれるプロジェクトづくり

- 【目的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。
- 【事業概要】助成金セミナーの補完事業として位置づけ、資金調達についての考え方と設計についての情報提供とスキルアップを目指して頂く。
特にはじめに助成金申請を考えておられる団体など、年間を通じ個々の団体の成長プロセス（立ち上げ期、成長期、拡大期）や団体の規模、ニーズに合わせ、資金調達の基礎となる事業計画、立案のポイントを学ぶ。
- 【実績】・参加者数 14人（目標数 15人）
・会員獲得数 0 団体・人
・これまで助成金セミナーや資金調達セミナーへの参加が少なかった若者世代の参加が見られた。（20～30代）
- 【実施日時】平成30年（2018）9月19日 19：00～21：00
- 【場所】平野町シバタビル 3F 大阪市中央区平野町 2-2-6
※当初エコネット近畿 事務所で開催予定であったが、空調故障のため外部に会議室を借りて開催した。
- 【対象者】はじめて助成金申請をする方、これからNPOを立ち上げたい方
- 【参加者】一般 1,000円、会員 800円
- 【講師】生島 正氏（FAAVO by CAMPFIRE 神戸運営代表）
- 【内容】複数の事例とワークショップを通して、参加者のみなさんが取り組んでいる、または、これから取り組むプロジェクトをより共感が得られるプロジェクトになるようブラッシュアップ。
- 【主催】NPO法人 エコネット近畿
- 【課題】活動の分野を問わず、一般的な「助成申請」に応用できる内容であることを広報し、より多くの団体の組織基盤強化につなげる。
- 【収入】 13,200円（参加費）
- 【支出】 14,737円（旅費交通費）
- 【収支差額】 ▲1,537円



平成30年度 事業報告書

2. 団体・人材育成

2-4 会員団体への会議室・備品の貸出

【事業概要】 会議室・備品の貸出などの支援により、少人数のセミナーを開催し活動を広めていただく機会と場を提供する。

会議室利用のご案内

エコネット近畿では、会議室の貸室を行っています。
環境に関する学習活動や、研修、会議の場としてご利用ください。



- 開館時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 受付電話 ● 06-6881-1133
- 受付時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 定 員 ● 18人 床面積 30㎡×1室

申込方法

- 1、電話にて、会議室の空き状況を確認してください。
- 2、使用目的と人数、時間帯をお知らせください。
- 3、2か月先までのご予約をお受けいたします。

会議室利用時間について

利用時間	平日 9時30分～18時30分（夜間は要問合せ）	・申請された使用時間内で準備・後片付けを行ってください。
正会員	無 料	・開館時間以外でご利用の際は、事務局にご相談ください。
賛助会員	無 料	・館内は禁煙となっておりますので、喫煙はしないでください。
一 般	ご利用いただけません	・期間により「冷暖房装置に係る加算額」を別途徴収する場合があります。

付属設備について

長机	6台	1、パソコンは、各自ご持参ください。 2、会議室は、WiFiをご利用いただけます。 3、施設・器具等を紛失したり、き損した時は、速やかに事務局に申し出てください。 なお、この場合、使用者に損害を賠償していただく場合があります。 4、左記以外に必要な設備はご相談ください。
椅子	18脚	
ホワイトボード（可動式）	1台	

湯沸かしポット	1台	
マグカップ	15客	
急須	1個	

お申込・お問合せ エコネット近畿 事務局

530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-14
サンプラザ南森町 401

☎ 06-6881-1133

【収 入】 0円（会員対象にて無料）
【支 出】 0円
【収支差額】 0円

会議室貸出 51件

年 月	回数	利用者数
平成30年 4月	5	41
5月	3	26
6月	6	48
7月	16	116
8月	6	55
9月	4	17
10月	4	52
11月	4	20
12月	5	31
平成31年 1月	2	10
2月	4	33
3月	7	48
合 計	66	497

備品貸出 19件

備品（ごみハサミ）	4件 / 280本
国際ごみ拾い（1回）	100本
天神祭ごみゼロ大作戦	100本
ブルーサンタ	20本
おお川水辺クラブ	60本

その他の備品貸出件数 12件

机、椅子、名札、プロジェクター、ブルーシート、卓上ベル、台車、秤救急セット、プロッキー

2-3 マネジメントセミナー NPOのためのマネジメントセミナー

【目的】①近畿の環境団体の「組織運営力」のスキルアップによる活動の活性化。
②組織において運営のコアな部分に関わるスタッフ育成。

【事業概要】環境NPOが社会の変化に対応し、「事業計画」「人材育成」「資金調達」「ニーズ分析」「組織マネジメント」のほか、「NPO会計」等の実務のスキルアップをめざしていただくためのワークショップ、講座を織り交ぜ体系的に実践力を養う。

【実績】・参加者数 16人（目標数10人）
・アンケート結果から満足度10点～9点（64％）の評価があった。
・参加の前後で、「団体のミッション」「顧客」に関する理解度がアップした。
・参加者全員が「とても得るものがあった」「得るものがあった」と評価。

【実施日時】平成30年（2018）10月25日（木）13：00～16：30

【実施場所】おおさかATCグリーンエコプラザ セミナールーム

【対象者】スキルアップをめざす団体運営スタッフ

【参加費】1,000円（資料代、実費）

【講師】小野 弘人氏（セブン-イレブン記念財団 地域活動支援事業マネージャー）

【内容】①団体が活動する上で必要な、ミッションや目標の「明確化と共有」。
②映画「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」の鑑賞。
③マネジメントの成功事例の紹介。
④ワーク：「団体の顧客とは誰か？」

【収入】15,600円（参加費）

【支出】1,765円（交通費、会議費）

【収支差額】13,835円



3.コーディネート

- ・近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- ・環境活動における地域間、分野間の協働推進
- ・環境活動資源交流（人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル）

3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催

- 【目的】①企業とNPO、行政の連携・協働事例から新しい協働のヒントを得て頂く。
②企業とNPO、行政の協働を考える場、出会いの場を提供する。
- 【事業概要】企業や行政、地域の方に、環境NPOの活動を認知して頂く機会として場を提供すると共に、潜在的な協働のニーズやウォンツを探る場とする。
- 【実績】参加者数 23人（一般 10人、NPO 13人） / 目標数 30人
会員数 4団体・人（特典により平成30年度会員として3人入会）
情報交流会につながる意見交換ができた。
- 【実施日時】平成31年（2019）12月14日（金）14：30～16：30（予定）
- 【実施場所】大阪産業創造館 5階 研修室A・B
- 【対象者】協働に関心のある企業、行政、環境NPO
- 【内容】①近畿経済産業局による情報提供
②環境分野における、異なるセクター間の協働事例発表
③グループディスカッション
- 【参加費】一般 3,000円、会員・学生 1,000円
- 【発表団体】（行政）近畿経済産業局
（企業）キタイ設計株式会社、谷林業株式会社、株式会社パン・アキモト
（NPO）天神祭りのごみゼロを考える会事務局
- 【後援】大阪府、近畿経済産業局、関西SDGsプラットフォーム
- 【収入】43,000円（助成金、参加費）
- 【支出】66,432円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）
- 【収支差額】▲23,432円

3-2 CSRのコーディネート

- 【目的】企業と環境NPOの協働を促進する。
- 【事業概要】環境活動を推進しようとする企業に対し、連携する環境NPOの紹介や環境活動へ助言や支援を行う。また、持続可能な環境活動のため地域資源の紹介やマッチングを行い、企業と環境NPOの交流をはかる。
- 【実績】①助成財団に対する申請状況のヒアリング（電話、メールなど）
③申請書の配布に協力いただいた中間支援に対する申請情報のヒアリング
④助成制度資料を送付した団体への進捗状況のヒアリング

4.コンサルティング

- ・持続可能な地域づくりを行う環境NPO、企業、行政に対し、各相談に応じ助言や紹介、支援を行う
- ・環境活動をすすめる際に必要な支援を受けたり、情報を入手できる場となる

4-1 個別相談への対応

- 【目的】①環境NPOが抱える個別の課題に共に向き合い、解決への糸口を見出す。
 ②団体内の課題を解決することで、活動の活性化を促す。
 ③相談内容から共通課題を抽出し、支援事業を実施する。
- 【事業概要】環境活動をしている団体、または、これから環境活動を始めたいと考える個人に対し、電話やメール、ファクス、来所にて随時相談を受け付ける。
 また、各セクターが地域で環境活動を推進しようとする際に必要な情報を提供。
- 【実績】対応件数:432件（昨年：321件、一昨年：271件）
- ・広報支援依頼：230件（昨年：228件、一昨年：120件）
 イベント情報等メールニュース、HPへの掲載依頼、チラシの配架依頼。
 - ・資金調達についての相談：55件（昨年：31件、一昨年：21件）
 助成金申請書のアドバイス（6件）、助成金情報の問合せ、推薦状の発行。
 - ・地域資源マッチング：70件
 ネットワーク（団体や個人の照会など）、資源提供（場所など）
 - ・マネジメント、協働、ノウハウ、専門性に関する相談：77件（昨年：29件）
 NPO設立・運営に関する相談、定款の変更、役員変更手続・事務所移転登記。

		分類					
		任意団体	NPO団体	企業	市民	行政	助成財団
合計件数	432	75	203	31	41	49	33
比率	100%	17.36%	46.99%	7.18%	9.49%	11.34%	7.64%
前年件数	321	43	170	24	21	42	21
前年比	35%	74%	19%	29%	95%	17%	57%

		項目							
		ヒト	モノ	資金	情報	マネジメント	ノウハウ	専門性	協働
合計件数	432	46	24	55	230	14	18	19	26
比率	100%	10.65%	5.56%	12.73%	53.24%	3.24%	4.17%	4.40%	6.02%
前年件数	321	24	9	31	228	1	13	9	6
前年比	35%	92%	167%	77%	1%	1300%	38%	111%	333%

		会員別					
		非会員	会員	個人正会員	団体正会員	個人賛助会員	団体賛助会員
合計件数	432	264	168	44	100	7	17
比率	100%	61.1%	38.9%	10.2%	23.1%	1.6%	3.9%
前年件数	321	226	95	23	48	10	14
前年比	35%	17%	77%	91%	108%	-30%	21%

5.統一テーマ活動

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域や分野を越えて、個別団体の活動をつなげる

5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動への協力

【目的】①環境啓発活動として地域と連携した一斉活動（一斉調査、一斉清掃等）を行う。
②NPO活動の「見える化」と「活性化」。

【事業概要】「きれいな水辺でつながろう～びわ湖・淀川クリーンアップ」をキャッチフレーズに、NPO活動の「活性化」「見える化」を支援することで、広く市民に環境問題への気づきを広め、地域住民の生活環境の改善を図る。
地域で実施する一斉清掃に、ごみハサミの貸出や広報による協力を行ったり、Webサイト上に、クリーンアップ活動団体情報やイベント情報を掲載。

【実績】・海ごみ関連の情報掲載
・全国川ごみ拾いアンケート調査 広報協力

【実施日時】随時

【対象者】近畿の河川流域で活動しているNPO/企業・行政・専門家および住民

【内容】Webサイトへの情報掲載

【収入】 95,000円（エコポイント寄付より拠出）

【支出】 ▲ 95,000円（通信費、支払手数料）

※エコポイント寄附からの支出。詳細については、財務諸表の注記下段用途制限のある寄附参照。

<HORIKAWA エコ★スカ 2018>協力活動・運営委員会への参加

【日時】平成31年 春～秋 開催予定

【実行委員会】平成30年（2018）11月16日 19:00～21:00

平成31年（2019）1月23日 19:00～21:00

2月15日 19:00～21:00

3月15日 19:00～21:00

【場所】大阪市北区堀川地区

【内容】北区堀川地域の地縁組織、企業、任意団体、大阪市北区まちづくりセンターと連携「調査・ゲーム型ごみ拾い」のスタッフとして活動。
地域一斉清掃：1チーム5人制のチーム対抗ごみ拾いを行い、
：家で眠っている不要小型家電も回収した。

【主催】HORIKAWAエコ☆スカ実行委員会

【協力】堀川地域活動協議会、堀川連合振興町会、堀川地区社会福祉協議会、堀川女性会
堀川小学校、NPO法人ダカー歩、Caféくるみ、NPO法人エコネット近畿

1 役員等の数

- ・理事長 1人
- ・副理事長 1人
- ・理事 15人
- ・監事 2人

2 平成30年度総会の開催

【実施日時】平成30年（2018）6月9日（土）15：20～16：20

【実施場所】おおさかATCグリーンエコプラザ 11階 セミナールーム

【対象者】エコネット近畿 正会員

【内容】審議事項

第1号議案	平成29年度	事業報告書	承認の件
第2号議案	平成29年度	活動計算書、監査報告	承認の件
第3号議案	平成30年度	事業計画書	承認の件
第4号議案	平成30年度	活動予算書	承認の件

3 理事会の開催

第40回 定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）4月17日（火）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】15人（本人出席 14人、書面表決 1人）

【内容】平成30年度総会審議内容

平成29事業報告書（案）、活動計算書（案）

平成30事業計画書（案）、活動予算書（案）

第41回 定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）6月9日（土）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】10人（本人出席 10人）

【内容】エコネット近畿 後援名義使用申請の承認

第42回 定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）8月28日（火）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人（本人出席 12人、書面表決 2人）

【内容】平成30年度主幹事業（情報交流会、助成金セミナー）および自主事業の検討

3 理事会の開催

第43回定例理事会

【実施日時】平成30年(2018)10月25日(木)19:00~22:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】12人(本人出席 8人、書面表決 4人)

【内 容】平成31年度エコネット近畿 事業計画(案)、活動予算(案)

第44回定例理事会

【実施日時】平成30年(2018)12月14日(金)19:30~22:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】11人(本人出席 10人、書面表決 1人)

【内 容】平成31年度総会審議内容

第45回定例理事会

【実施日時】平成31年(2019)3月6日(水)19:00~21:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人(本人出席 12人、テレビ会議出席 1人、書面表決 1人)

【内 容】平成31年度総会審議内容、役員(理事、監事)候補の選定、情報交流会の報告

4 運営会議の開催

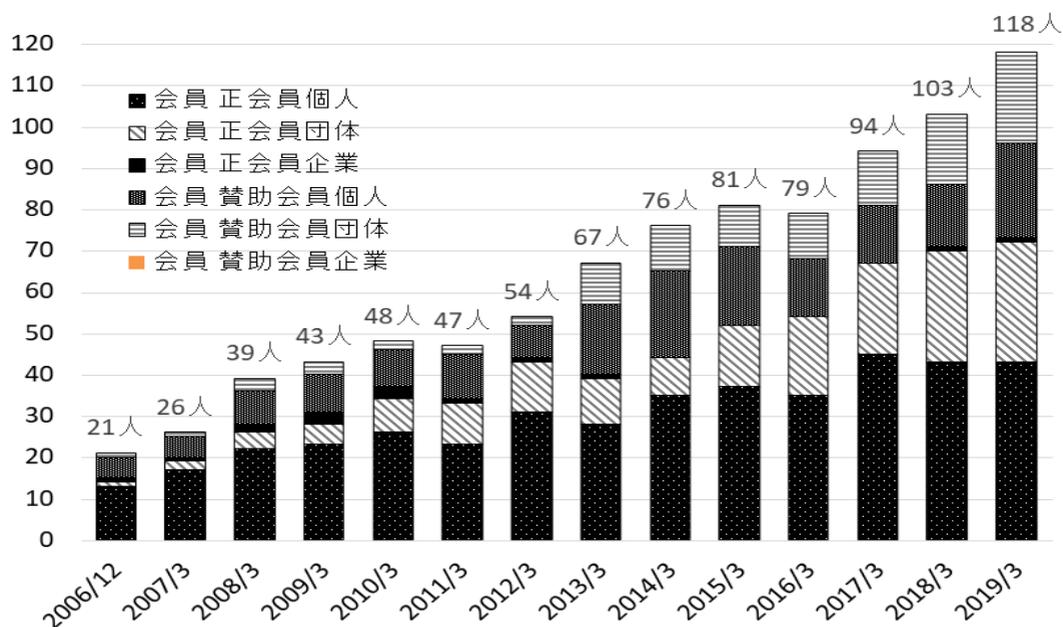
- 今期は、各事業とも実行委員会形式で運営し、運営会議として事務局から理事会全体に招集をかけることはなかった。

会員数の推移

会員数の推移

昨年の総会での会員制度の見直し（入会金の廃止、会議室の無料貸出など）の結果、既存会員は「個人会員から団体会員」への種別変更、新規入会者は「賛助会員より正会員」を選択する方が増える傾向がみられた。

会員			平成29年度 期末	平成30年度 期末	前年比	平成30年度 期首計画	達成率
	正会員	団体		27	29	7.4%↑	42
個人			43	43	—	44	102%
企業			1	1	—	2	50%
賛助会員	団体		18	22	22.2%↑	14	128%
	個人		15	23	53.3%↑	16	157%
	企業		0	0	—	2	0%
合計（団体・人）			104	118	13.4%↑	140	84.2%



会員数の推移

【目 標】 昨年度の会員制度の見直しを受け、既存会員が会員種別を「賛助会員から正会員」、また「個人会員から団体会員へ」とステップアップされる傾向があったことから、今年度も会員特典をアピールしステップアップを促していく。

【実 績】

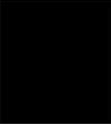
- ・118人（目標 140人、達成率84.2%）
- ・団体に所属する方の多くが、「個人会員よりも団体会員」への加入を選択され、結果として、個人会員より団体会員の伸び率が高くなった。
- ・企業の入会があった。
- ・主催事業に複数回参加された後に、基幹事業である助成金セミナーや情報交流会の開催にあわせ、入会されるケースが大半をしめており、事業に対する共感やそのメリット、満足度の表れとも考えられる。

【入 会】 平成30年（2018）4月～平成31年（2019）3月

- 正会員（団体）

環境カウンセラーズ京都	京都府
奈良人と自然の会	奈良県
NPO法人大阪府民環境会議	大阪府
NPO法人奥播磨夢倶楽部	兵庫県
NPO法人棚田LOVER's	兵庫県
NPO法人GIFT	東京都
- 賛助会員（団体）

NPO法人リバイブハウス	大阪府
大地の再生・京都	京都府
HTAデザイン	大阪府
NPOグリーンツーリズムもちがせ	鳥取県
大阪狭山市市民活動支援センター	大阪府
- 賛助会員（個人） 4名



NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

〒530-0041

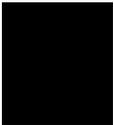
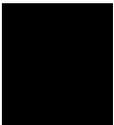
大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町401

TEL : 06-6881-1133

FAX : 06-6949-8288

E-mail : jimukyoku@econetkinki.org

URL : <http://econetkinki.org>



6.その他 (他団体との連携・協力、広報記事など)

i. 龍谷大学「地域人材育成に係る相互協力に関する協定書」による入学生

エコネット近畿は、龍谷大学と「地域人材育成に係る相互協力に関する協定書」を締結しており、エコネット近畿会員の川畑様が、今年度初となる、大学院修士課程 地域公共人材総合研究プログラム推薦入学・「地域人材育成学費援助奨学生」となりました。

ii. 大阪府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会

- 吹田市立市民子駅活動センター「ラコルタ」Newsletter インタビュー対応
- 一般社団法人NPO会計力検定協会 会計力検定への協力
- 淀川管内河川レンジャーの平成30年度広報活動に係る協力
- 大阪自然環境保全協会 「都市と自然」No.513 Tomorrow 寄稿
- 林野庁 近畿中国森林管理局 箕面ふれあい推進センター
森林環境教育【森林ESD】
活動報告事例集（平成27年～29年度の活動報告事例とりまとめ）